

## 信濃町商工会管内景気動向

### 【令和2年度第I四半期 R2年4月～6月】調査報告書

#### 調査の趣旨

企業を取り巻く経営環境の変化に対応する為、地域産業振興施策と事業者支援施策の為景気動向について調査を実施

#### 調査方法

期間：2020年7月13日～7月30日

対象：信濃町商工会会員 315人

方法：アンケート用紙郵送による 手回収及びFAXによる回収

#### 調査結果概要

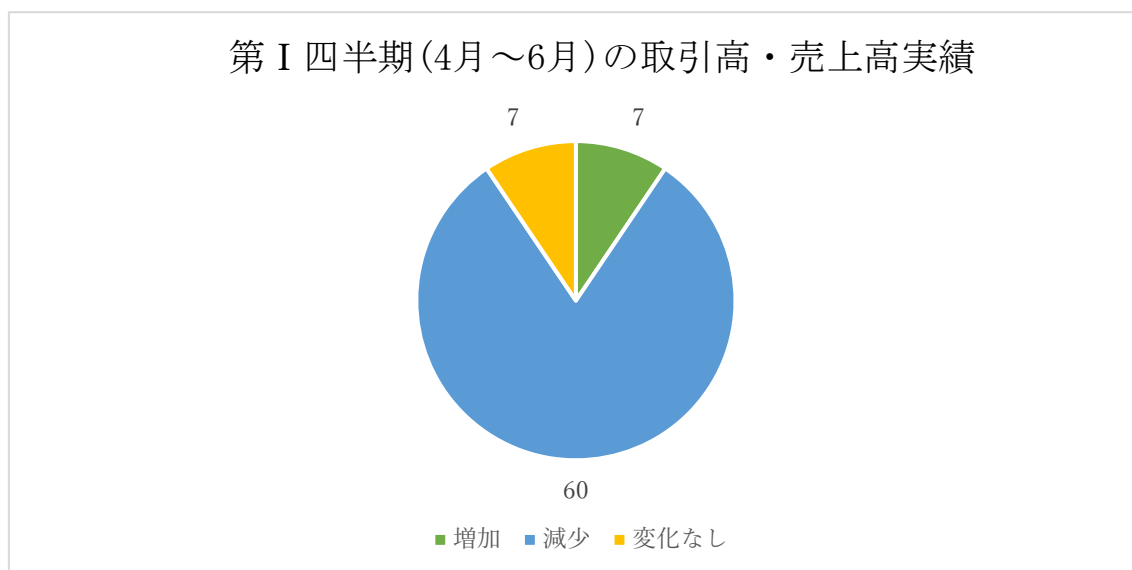
回答頂いた事業者の内80%を超える事業者が前年同期と比べ、取引高・売上高が減少したと回答し、需要動向が低調になっている。

また、経営課題とし、コロナウイルスに関して多く上げられ、外出自粛による需要の停滞、クラスター発生予防の経営以外の面で課題として多く挙げられている。

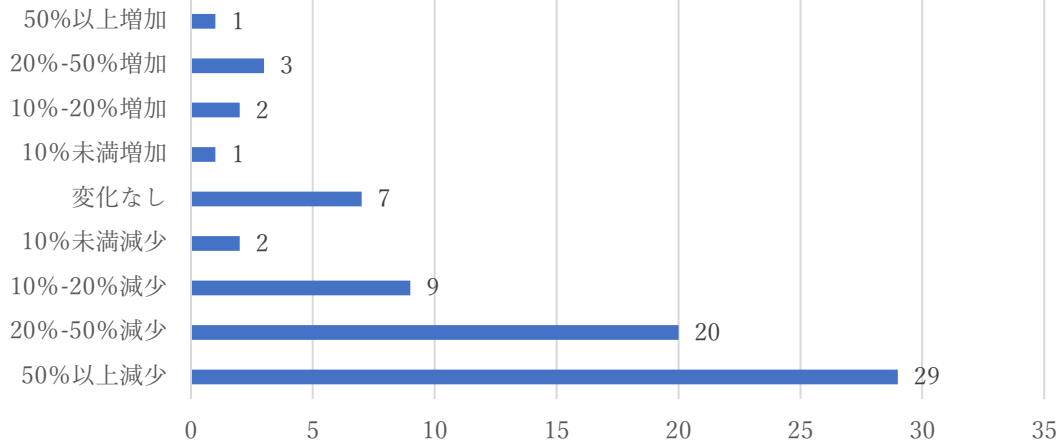
#### 調査内容詳細

##### 1 前年同期に比べて第I四半期(R2年4月～6月)の取引高・売上高実績について

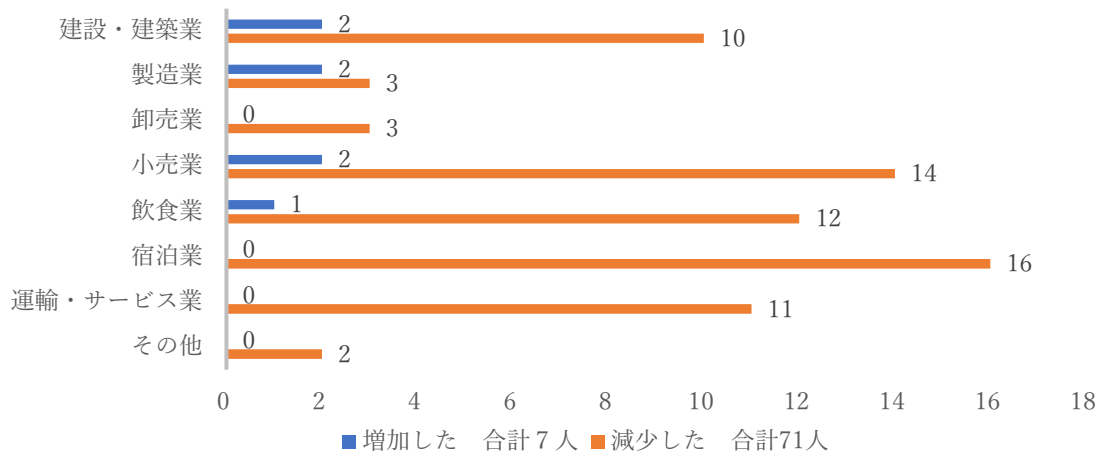
第I四半期(R2年4月～6月)の取引高・売上高実績は回答頂いた81%の事業者が減少したと回答している。長野県内では4月29日～5月6日まで緊急事態宣言が出された影響もあり50%以上売上が減少した事業者が39%となっている。業種によっては増加したと回答しており、業種による差が少なからず見える。



### 第 I 四半期(4月～6月)の取引高・売上高実績

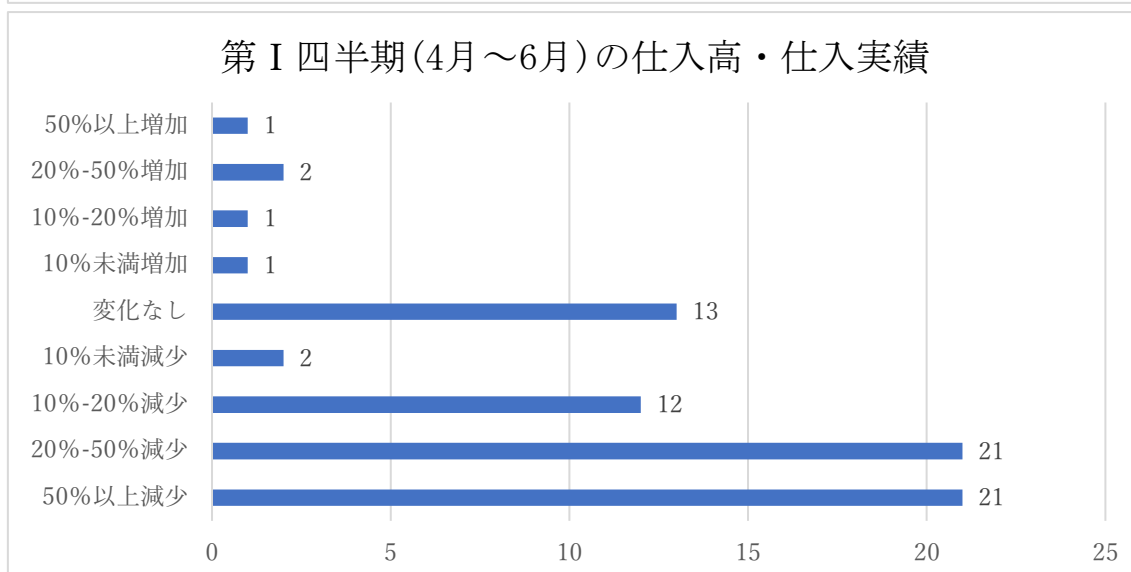
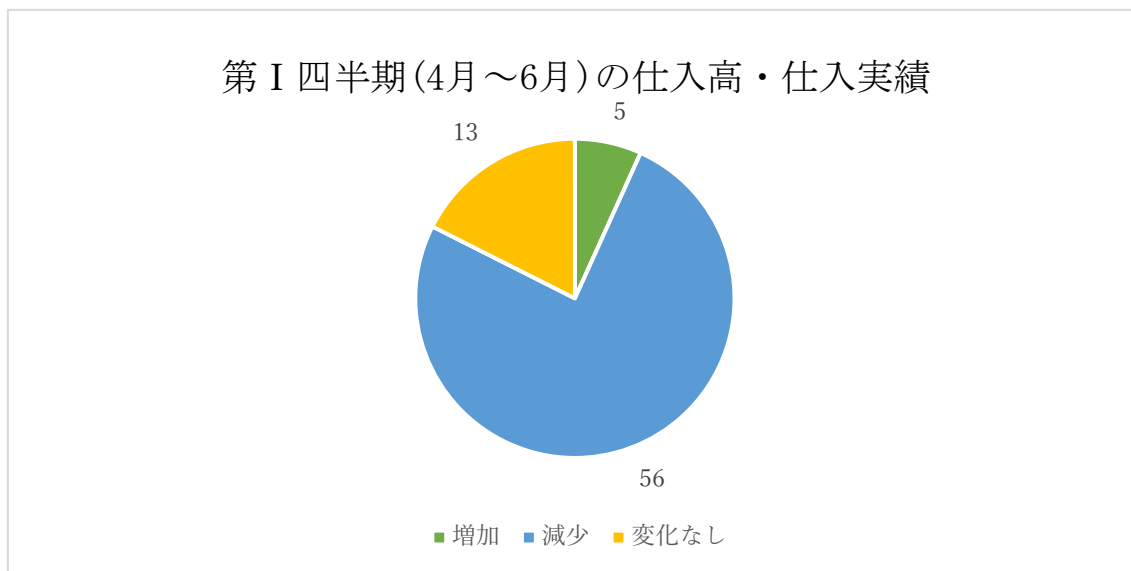


### 第 I 四半期(4月～6月)の取引高・売上高実績



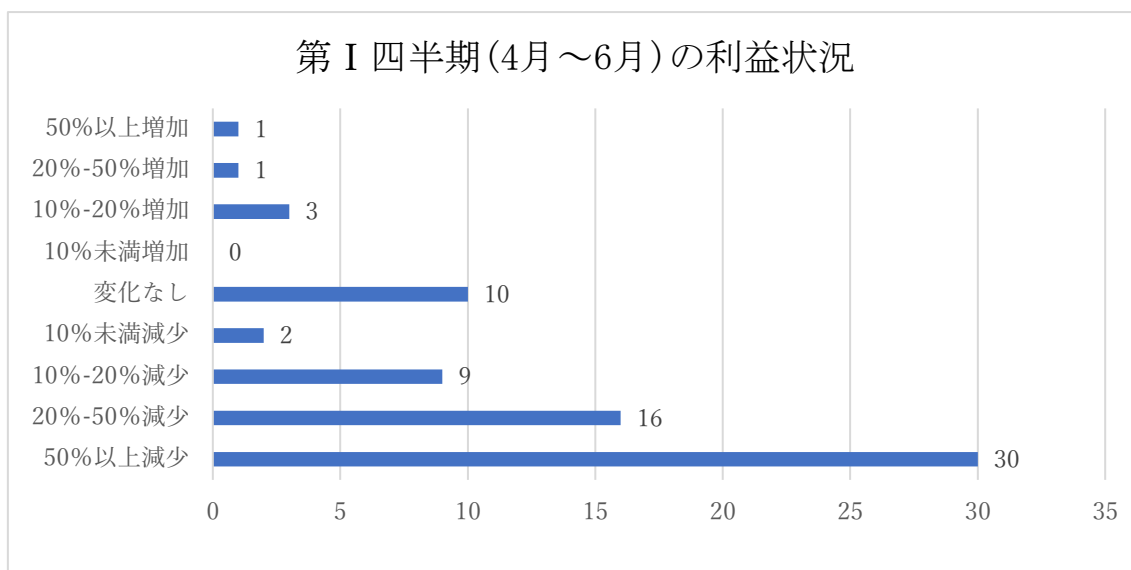
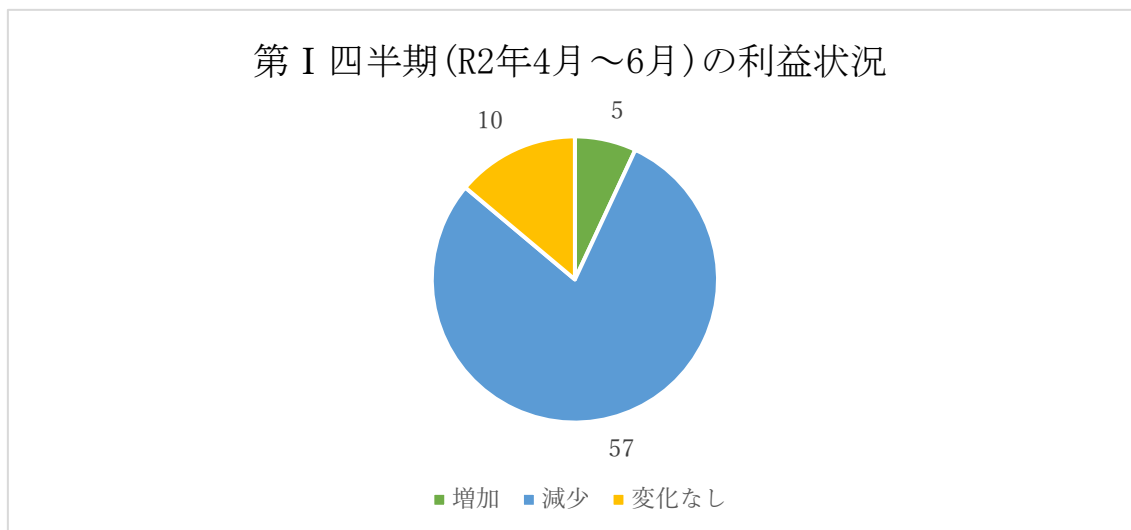
## 2 前年同期に比べて第 I 四半期 (R2 年 4 月～6 月) の仕入高・仕入実績について

第 I 四半期 (R2 年 4 月～6 月) の仕入高・仕入実績は、回答頂いた頂いた 75% の事業者が減少したと回答している。また、減少した事業者の 38% の事業者が 50% 以上仕入れ減少したと回答しており、町内の需要停滞がうかがえる。



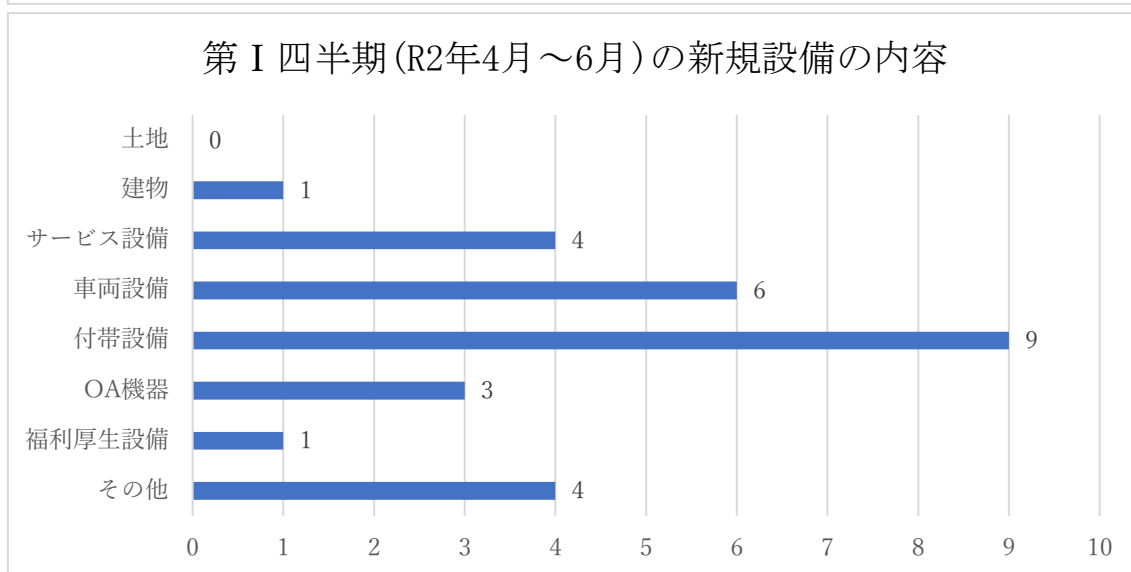
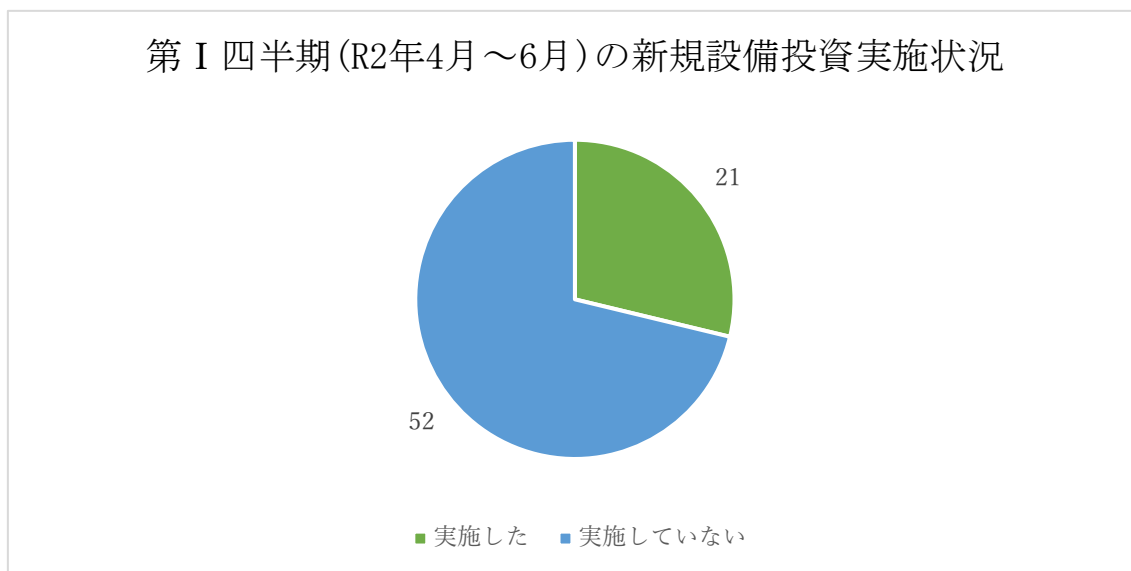
### 3 前年同期に比べて第 I 四半期 (R2 年 4 月～6 月) の利益状況について

第 I 四半期 (R2 年 4 月～6 月) の回答頂いた 79% の事業者が減少したと回答している。また、減少した事業者の 53% の事業者が 50% 以上の利益が減少したと回答しており、採算性の悪化がうかがえる。



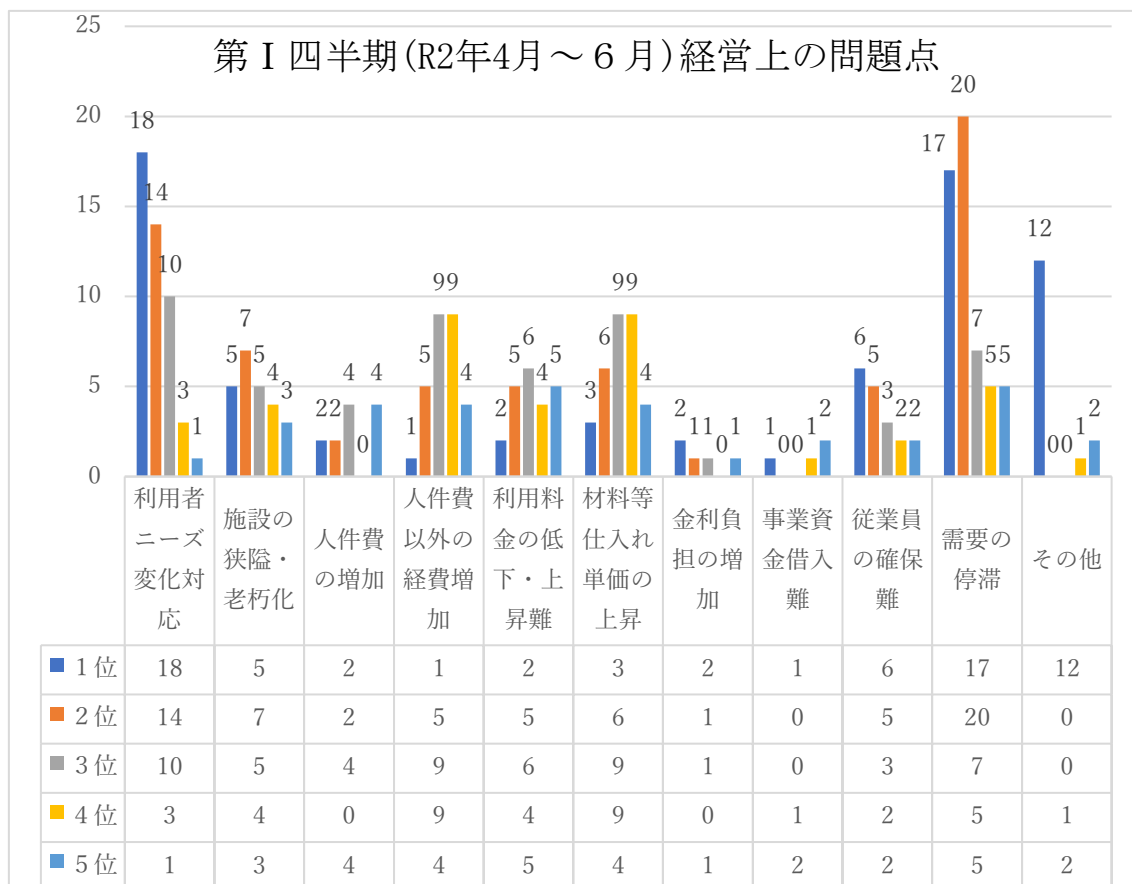
#### 4 第 I 四半期 (R2 年 4 月～6 月) の新規設備投資について

第 I 四半期 (R2 年 4 月～6 月) の新規設備投資状況について、回答頂いた事業者 29% が実施している。投資した内容として、一番多かったのが付帯設備、次いで車両設備となっている。



## 5 第 I 四半期(R2年4月～6月)直面している経営上の問題点

第一四半期(R2年4月～6月)に直面している経営上の問題点として一番多く認識されたのが『需要の停滞』次いで挙げられたのが、『利用者ニーズ変化対応』であった。また、コロナウイルス感染防止策や、今後の動向についての関心が高いことが伺えた。



以下【その他】であげられた回答を原文のまま掲載しております。

宿泊業	コロナウイルスによる外出自粛
建設・建築業	コロナ
宿泊業	コロナウイルス
宿泊業	コロナ
小売業	自粛による宿泊者の減少
小売業	安全確保 クラスタ発生予防
小売業	特に直面している問題はありません
宿泊業	後継者
宿泊業	コロナによる自粛
小売業	コロナウイルスによる外出自粛
宿泊業	コロナ
小売業	コロナウイルス